

## 運用商品の全体構成に関する説明

運営管理機関 株式会社みずほ銀行

当プランのラインアップ商品は、年代や投資経験等の異なる様々な加入者の方がご自身に合わせて高齢期の所得確保に資する運用ができるように、以下の商品構成になっています。

商品の位置づけ		商品カテゴリー	選定理由
年代や投資経験等に照らし許容できるリスクをとりつつ、高齢期の所得確保に必要な収益を目指し運用したい加入者の方	投資資産の選択を専門家に委ねたい加入者の方向けの商品	バランス型商品	分散投資を行いたいが投資経験が少ない等の理由から運用判断を専門家に委ねたい加入者の方向けの商品として、複数資産への分散投資を行うバランス型商品を選定。
	自分で投資資産を選択することで自分に適した分散投資を行いたい加入者の方向けの基本商品(その1)	個別資産パッシブ商品 (基本4資産)	自分で投資資産を選択することで自分に適した分散投資を行いたい加入者の方向けの基本商品として、基本4資産(国内・先進国の債券・株式)を投資対象とし、市場の平均的な値動きに連動する収益を目指すパッシブ商品を選定。
	より多くの投資資産に分散することで分散投資の効果を高めたい加入者の方向けの基本商品(その2)	個別資産パッシブ商品 (基本4資産以外)	より多くの投資資産に分散することで分散投資の効果を高めたい加入者の方向けの基本商品として、基本4資産(国内・先進国の債券・株式)と異なるリスク・リターン特性を有するその他の資産を投資対象とし、市場の平均的な値動きに連動する収益を目指すパッシブ商品を選定。
	独自の商品性や運用スタイル等を有する商品を選択したい加入者の方向けの応用商品	個別資産アクティブ商品	より積極的に収益を追求したい加入者の方向けの応用商品として、独自の運用スタイル等により市場の平均的な値動きを上回る収益を目指すアクティブ商品を選定。
年代や投資経験等に照らし許容できるリスクが低い加入者の方向けの確定利回り商品		元本確保型商品	年代や投資経験等に照らし許容できるリスクが低い加入者の方向けの確定利回り商品として、満期に応じてあらかじめ定められた利息収益が得られる元本確保型商品を選定。

## 商品別選定理由

加入者等のみなさんは、以下の運用商品ラインアップの中から商品を選択することができます。  
各商品の内容については、商品概要説明資料をご覧ください。  
商品選択の最終ご判断はみなさんご自身が自己責任で行ってください。

### 商品ラインアップならびに選定理由

商品選定：みずほ銀行（運営管理機関）

#### ●元本確保型商品以外の商品

商品種類	主要投資対象	運用スタイル	商品名	運用会社	商品の選定理由
投資信託	バランス	アクティブ	投資のソムリエ<DC年金>リスク抑制型	アセットマネジメントOne	主な投資対象を国内外の債券・株式・リートおよび新興国の債券・株式とし、投資環境の変化に応じてそれぞれの配分比率を適宜変更することにより、基準価額の変動リスクを年率2%程度に抑えながら中長期的に安定的な収益を目指すファンド。国内外の債券・株式・リートおよび新興国の債券・株式のリスクをとりつつ投資資金の増加を図る商品として選定。外貨建資産には、投資環境に応じて弾力的に為替ヘッジを行うことがある。
			投資のソムリエ<DC年金>		主な投資対象を国内外の債券・株式・リートおよび新興国の債券・株式とし、投資環境の変化に応じてそれぞれの配分比率を適宜変更することにより、基準価額の変動リスクを年率4%程度に抑えながら中長期的に安定的な収益を目指すファンド。国内外の債券・株式・リートおよび新興国の債券・株式のリスクをとりつつ投資資金の増加を図る商品として選定。外貨建資産には、投資環境に応じて弾力的に為替ヘッジを行うことがある。
			One国際分散投資戦略ファンド(目標リスク6%)<DC年金>(愛称:THE GRIPS 6%<DC年金>)		主な投資対象を世界(日本を含む)の株価指数先物取引、債券先物取引、商品先物取引、スワップ取引、指数に連動する投資成果をめざす上場している投資信託証券(ETF)および為替予約取引等とし、投資環境に応じて資産配分比率を変更することにより、基準価額の変動リスクを年率6%程度に抑えながら中長期的に安定的な収益を目指すファンド。主要投資対象のリスクをとりつつ投資資金の増加を図る商品として選定。外貨建資産には、投資環境に応じて弾力的に為替ヘッジを行うことがある。(市場が大きく変動した場合には、目標リスク水準を上回る可能性がある。)
			One国際分散投資戦略ファンド(目標リスク8%)<DC年金>(愛称:THE GRIPS 8%<DC年金>)		主な投資対象を世界(日本を含む)の株価指数先物取引、債券先物取引、商品先物取引、スワップ取引、指数に連動する投資成果をめざす上場している投資信託証券(ETF)および為替予約取引等とし、投資環境に応じて資産配分比率を変更することにより、基準価額の変動リスクを年率8%程度に抑えながら中長期的に安定的な収益を目指すファンド。主要投資対象のリスクをとりつつ投資資金の増加を図る商品として選定。外貨建資産には、投資環境に応じて弾力的に為替ヘッジを行うことがある。(市場が大きく変動した場合には、目標リスク水準を上回る可能性がある。)
			投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2035)		主な投資対象を国内外の債券・株式・リートおよび新興国の債券・株式とし、投資環境の変化に応じてそれぞれの配分比率を適宜変更することにより、基準価額の変動リスクを一定水準に抑えつつ、運用期間の経過とともに目標変動リスクを徐々に低減させるターゲット・イヤー型運用を行うファンド。投資環境の変化と運用期間の経過に応じたリスクコントロールを行い、安定的な収益の確保を目指すライフサイクルファンドとして選定。外貨建資産には、投資環境に応じて弾力的に為替ヘッジを行うことがある。
			投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2040)		
			投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2045)		
			投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2050)		
			投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2055)		
			投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2060)		
	パッシブ	パッシブ	たわらノーロード スマートグローバルバランス(安定型)	アセットマネジメントOne	主な投資対象を国内外の債券・株式・リートおよび新興国の株式とし、各資産のベンチマークに連動することを目的としたマザーファンドに投資を行うが、ファンドのベンチマークは設定していない。原則として年に2回投資配分比率の見直しを行い、市場環境の変化等に対応した効率的ポートフォリオの構築を目指すファンド。国内外の債券・株式・リートおよび新興国の株式のリスクをとりつつ投資資金の増加を図る商品として選定。外貨建資産の一部には弾力的に為替ヘッジを行う。
			たわらノーロード スマートグローバルバランス(安定成長型)		
			たわらノーロード スマートグローバルバランス(成長型)		
			たわらノーロード スマートグローバルバランス(積極型)		
	国内債券	パッシブ	パッシブ	たわらノーロード 国内債券	アセットマネジメントOne
国内株式	パッシブ	パッシブ	One DC 国内株式インデックスファンド	アセットマネジメントOne	主な投資対象を国内の株式とし、ベンチマークであるTOPIX(東証株価指数、配当込み)に連動する投資成果を目指すファンド。国内株式のリスクをとりつつ投資資金の増加を図る商品として選定。
			MHAM日本成長株ファンド<DC年金>		主な投資対象を国内の株式とし、競争力の優位性と利益の成長性を重視したボトムアップアプローチに基づく個別銘柄選定を通じて、信託財産の成長を図ることを目標として運用するファンド。参考指数はTOPIX(東証株価指数)。積極的に国内株式のリスクをとりつつ投資資金の増加を図る商品として選定。
	アクティブ	One高配当利回り厳選ジャパン	主な投資対象を国内の株式とし、配当利回りが高く、長期にわたり配当可能な企業に厳選投資することで、投資信託財産の成長を目指すファンド。積極的に国内株式のリスクをとりつつ投資資金の増加を図る商品として選定。		
海外債券	パッシブ	パッシブ	たわらノーロード 先進国債券	アセットマネジメントOne	主な投資対象を日本を除く海外の債券とし、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)に連動する投資成果を目指すファンド。海外債券のリスクをとりつつ投資資金の増加を図る商品として選定(原則として為替ヘッジなし)。
			たわらノーロード 先進国債券<為替ヘッジあり>		主な投資対象を日本を除く海外の債券とし、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジあり・円ベース)に連動する投資成果を目指すファンド。海外債券のリスクをとりつつ投資資金の増加を図る商品として選定(原則として為替ヘッジあり)。
海外株式	パッシブ	パッシブ	たわらノーロード 先進国株式	アセットマネジメントOne	主な投資対象を日本を除く海外の株式とし、ベンチマークであるMSCI KOKUSAIインデックス(円換算ベース、配当込み)に連動する投資成果を目指すファンド。海外株式のリスクをとりつつ投資資金の増加を図る商品として選定(原則として為替ヘッジなし)。
			たわらノーロード 先進国株式<為替ヘッジあり>		主な投資対象を日本を除く海外の株式とし、ベンチマークであるMSCI KOKUSAIインデックス(円換算ベース、配当込み、為替ヘッジあり)に連動する投資成果を目指すファンド。海外株式のリスクをとりつつ投資資金の増加を図る商品として選定(原則として為替ヘッジあり)。
			たわらノーロード 新興国株式		主な投資対象を新興国の株式とし、ベンチマークであるMSCIエマージング・マーケット・インデックス(円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし)に連動する投資成果を目指すファンド。海外株式のリスクをとりつつ投資資金の増加を図る商品として選定(原則として為替ヘッジなし)。
	アクティブ	アクティブ	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)(愛称:未来の世界)		主な投資対象を日本および新興国を含む世界の株式とし、持続可能な競争優位性を有し、高い成長性が期待される企業の中から割安なものへの厳選投資を通じた個別銘柄選択効果により、中長期的に高い収益の獲得を目指すファンド。積極的に主要投資対象のリスクをとりつつ投資資金の増加を図る商品として選定(原則として為替ヘッジなし)。
			グローバルESGハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)(愛称:未来の世界(ESG))		主な投資対象を日本および新興国を含む世界の株式とし、持続可能な競争優位性を有し、高い成長性が期待され、ESG課題へ積極的に取り組む企業の中から割安なものへの厳選投資を通じた個別銘柄選択効果により、中長期的に高い収益の獲得を目指すファンド。積極的に主要投資対象のリスクをとりつつ投資資金の増加を図る商品として選定(原則として為替ヘッジなし)。
			ファンドスミス・グローバル・エクイティ・ファンド		主な投資対象を世界の株式とし、他社が模倣しにくいビジネスを展開し、技術革新など市場の変化に強い、持続的な成長が見込める企業などに投資をすることで長期的に資産の成長を目指すファンド。積極的に主要投資対象のリスクをとりつつ投資資金の増加を図る商品として選定(原則として為替ヘッジなし)。
			OneグローバルESG厳選株式ファンド<DC年金>		主な投資対象を日本を含む世界の株式とし、ESG課題へ積極的に取り組む企業への厳選投資を通じた個別銘柄選択効果により、中長期的に高い収益の獲得を目指すファンド。積極的に主要投資対象のリスクをとりつつ投資資金の増加を図る商品として選定(原則として為替ヘッジなし)。
Oneグローバル中小型長期成長株式ファンド<DC年金>(愛称:キセキ<DC年金>)	主な投資対象を日本を含む世界の中小型株式とし、外部環境の変化に高い耐性を持ち、自動努力による長期的な成長を続けることが期待できる"ハイクオリティ"企業に長期投資を行うことで、投資信託財産の中長期的成長を目指すファンド。ファンドのベンチマークは設定していない。積極的に海外株式のリスクをとりつつ投資資金の増加を図る商品として選定(原則として為替ヘッジなし)。				
国内不動産投信	パッシブ	パッシブ	たわらノーロード 国内リート	アセットマネジメントOne	主な投資対象を国内の金融商品取引所に上場している不動産投資信託証券とし、ベンチマークである東証REIT指数(配当込み)に連動する投資成果を目指すファンド。国内不動産投資信託証券のリスクをとって運用資産の増加を図る商品として選定。
海外不動産投信	パッシブ	パッシブ	たわらノーロード 先進国リート	アセットマネジメントOne	主な投資対象を日本を除く世界各国の不動産投資信託証券とし、ベンチマークであるS&P 先進国 REITインデックス(除く日本、円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし)に連動する投資成果を目指すファンド。外国不動産投資信託証券のリスクをとって運用資産の増加を図る商品として選定。

#### ●元本確保型商品

商品種類	商品名	運用会社	商品の選定理由
定期預金	みずほDC定期預金(1年)	みずほ銀行	満期に応じてあらかじめ定められた利息収益が得られる元本確保型商品として選定。

※本資料は基準日時点における運用商品情報を記載しています。最新の情報につきましては、加入者向けウェブサイト「確定拠出年金インフォメーション」等にてご確認ください。

### 指定運用方法に関する留意事項

- ・当プランには、確定拠出年金法第二十三条の二に規定される指定運用方法が設定されています。
- ・運用指図が行われないうまま、規約で定める「特定期間」および「猶予期間」を経過した場合、加入者は指定運用方法を運用の方法として指図したものとみなされます。
- ・指定運用方法を運用の方法とする指図を行ったとみなされた後も、加入者は自ら選択して運用の指図を変更することが可能です。
- ・指定運用方法を運用の方法とする指図を行ったとみなされた場合、その運用から生ずる利益および損失については、加入者の責任に帰属します。

### 当プランで設定されている指定運用方法の運用商品について

商品名	運用会社
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2035・2040・2045・2050・2055・2060)	アセットマネジメントOne
特定期間	猶予期間
初回掛金拠出日から3ヶ月間	特定期間満了日の翌日から2週間
指定運用方法に関する利益の見込みおよび損失の可能性	
利益の見込み:主に国内外の株式・債券等の値動きのある有価証券へ実質的に投資を行うため、商品の基準価額は変動します。有価証券の利子、配当、値上がり益、為替の差益などから生じる信託財産の増加を通じて、商品の基準価額が上昇することにより、利益が得られる見込みがあります。	
損失の可能性:商品の基準価額の下落により、損失を被り、運用の結果として投資元本が毀損される可能性があります(元本確保型の商品ではありません)。	
これらの運用による損益はすべて投資している加入者に帰属します。	
指定運用方法の選定理由	
加入者集団の属性等や必要とされる収益の水準に対し、運用により見込まれる利益(リターン)、損失の可能性(リスク)、運用に係る手数料、および運用結果として拠出した掛金の合計額を上回る可能性等を総合的に考慮し、複数資産への分散投資を行うバランス型ファンドのなかで、加入者の給付受取時期に向けて目標リスクを自動的に低減させる機能を有する当該商品を選定	
手数料および費用について	
信託報酬および信託財産留保額については、商品一覧をご確認ください。	

※運用商品の特徴・リスク・リターン特性については、運用商品概要書・過去の運用実績を合わせてご確認ください。